

新しい住環境価値創造小委員会活動報告（2013. 10. 27-28 尾道視察）

東京工業大学大学院・真野洋介先生と建築家・片岡八重子氏（両名ともに、後記「NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト」理事）のご案内のもと、広島県尾道市で視察を行った。

訪れたのは、尾道水道に面して広がる中心市街地と、近代以降に進んだ市街化により尾道三山南面の斜面地に形成された山手地区であり、これらの間に JR 山陽本線が東西に走る。

■ **山手地区（斜面市街地）**：寺院などの歴史資源が点在し、独特の景観を有する山手地区。しかし、ここでは斜面地という地理的条件が作用し、空き家・空き地化や建物の老朽化が進んでいる。これらの問題に対し、山手地区では、「[NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト](#)」や「[AIR Onomichi](#)」等の団体が連携し大学もそこへ積極的に加わり、空き家再生・活用についての取り組みが多面的に展開されている。今回は、斜面地が有する条件不利性への理解を深めつつ、こうしたプロジェクトの成果を視察した。



千光寺公園より瀬戸内海（尾道水道）を臨む



斜面市街地を見上げる



AIR CAFE（光明寺会館/AIR Onomichi活動拠点）



三軒家アパートメント



北村洋品店



尾道家屋



アキ公園と本の家



あなごの寝床（ゲストハウス）とあくびカフェ



みはらし亭

■ **中心市街地**：港町・商都としての発展過程を今に伝える歴史文化資源の視察をした。



商店街にたち並ぶ「天ぷら建築（看板建築）」



旧住友銀行尾道支店



旧花街の街並み

以上